

いなべ市における

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取り組みについて

本年 4 月 18 日に、小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、いなべ市の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分考慮し、今後のいなべ市の教育の一層の充実を図ってまいります。

いなべ市教育委員会事務局

学校教育課

平成 29 年 12 月

## I いなべ市における教科に関する調査結果の分析

### 1 小学校

#### 【小学校国語A：主として知識】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができています。 (言語についての知識・理解・技能)</li> <li>・ことわざの意味を理解し、正しい使い方を選択することができています。 (言語についての知識・理解・技能)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置関係など、手紙の基本的な形式を理解することに課題がみられます。 (書く能力)</li> </ul>

#### 【小学校国語B：主として活用】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を読み取り、適切な表現内容を選択することがほぼできています。 (読む能力)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを広げたり深めたりするために必要な、話し手の発言の意図を捉えることに課題がみられます。 (読む能力)</li> <li>・目的や意図に応じて必要な内容を引用し、条件に合わせて整理して書くことに課題がみられます。 (国語への関心・意欲・態度、書く能力)</li> </ul>

#### 【国語全般に見られる傾向と対策】

##### (1) 話し手の発言の意図を捉え、その根拠や共通点・相違点を明確にできるようにする

- 相手の考えの根拠を明確にするために質問をすることや、考えを聞いた上で自分の理解が正しいかどうかを確かめるための質問をするなど、話し合いができる授業展開を工夫します。また、お互いの相違を認め合える学級づくりも大切にしていきます。

##### (2) 事実・感想・意見などを区別しながら、伝えたい内容を整理して書くことができるようにする

- 書かれている内容から、目的や意図に応じて書く事柄を収集し、具体的な事実と感想・意見などを区別しながら内容を整理した上で簡潔に書けるように指導します。他教科でも、内容や分量など、条件にそって書く学習活動の設定や、書いたものを推敲するなどの指導を進めていきます。

### 【小学校算数A：主として知識】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な問題場面を捉え、乗法の式に表し、計算をすることができます。 (数量についての知識・理解)</li> <li>・資料を二次元表に表したとき、必要な情報を読み取ることができます。 (数量や図形についての技能)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに、やや課題がみられます。 (数量や図形についての技能)</li> </ul>

### 【小学校算数B：主として活用】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図と結びつけて考えることができます。 (数学的な考え方)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮の平均を用いた考えを解釈し、測定値の平均の求め方を言葉や式を用いて説明することに課題がみられます。 (数学的な考え方)</li> <li>・示された情報から、基準量・比較量・割合の関係を的確に捉え、判断の理由を式や図、言葉などを用いて説明することに課題がみられます。 (数学的な考え方)</li> </ul>

### 【算数全般に見られる傾向と対策】

#### (1) 測定値の平均を工夫して求めることができるようにする

- およその平均を見積もったり、能率的に処理するために工夫して計算したりする力が求められます。グラフと式、言葉などを関連付けながら解釈したり、説明したりするなど、指導内容を工夫します。

#### (2) 基準量、比較量、割合の関係を正しく捉え、判断の理由を記述できるようにする

- 示された情報と場面を表す図を用いるなど、数量の関係を的確に捉える指導を充実していきます。また、その図を手がかりに、判断の理由を式や言葉で表現する学習場面を設けていきます。

## 2 中学校

## 【中学校国語A：主として知識】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりすることができています。 (言語についての知識・理解・技能)</li> <li>・ 敬語や接続詞などの語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができています。 (言語についての知識・理解・技能)</li> <li>・ 提示されている情報から、目的や意図に応じて、具体例に使う情報として、適切なものを選ぶことができています。 (書く能力)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活で使われる事象や行為等を表す多様な語句について、その場に応じた適切な語句を考えることに課題があります。 (言語についての知識・理解・技能)</li> </ul>

## 【中学校国語B：主として活用】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面の展開や登場人物などの描写から内容を理解し、適切な言葉を文章の中から選ぶことができています。 (読む能力)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比喩を用いた表現に着目し、自分の感じたことや考えを具体的に書くことに課題がみられます。(国語への関心・意欲・態度、書く能力、 読む能力、言語についての知識・理解・技能)</li> </ul>

## 【国語全般に見られる傾向と対策】

## (1) 事象や行為等を表す多様な語句についての理解を深め、関心をもつようにする。

○ 学校生活での話し合いなど具体的な場面を想定し、その場の状況に応じた適切な言葉が使えるように指導します。

また、読書活動を通して語彙を豊かにすることも大切にしていきます。

## (2) 印象に残った場面や描写を明確にし、感じたことや考えたことを具体的に説明できるようにする。

○ 比喩や反復などの表現の技法についての知識を生かすなど、これまでの学習を踏まえて考え、書くという指導内容の工夫をします。

### 【中学校数学A：主として知識】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分数の乗法の計算ができています。 (数学的な技能)</li> <li>・ 平行移動について理解し、作図をすることができます。 (数学的な技能)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 扇形の弧の長さは中心角の大きさに比例していることを用いて求めることに課題がみられます。 (数学的な技能)</li> <li>・ 関数の意味を理解し、「○は□の関数である」という形で表現することに課題がみられます。 (数量や図形などについての知識・理解)</li> </ul>

### 【中学校数学B：主として活用】

○強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができます。 (数量や図形などについての知識・理解)</li> <li>・ 調査資料から必要な情報を適切に読み取ることができます。 (数量や図形などについての知識・理解)</li> </ul>
●弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの図形の関係がどのような回転移動によって重なるかを考察し、数学的な表現を用いて説明することに課題がみられます。(数学的な見方や考え方)</li> <li>・ 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり、式が成り立つ意味を理解し、筋道を立てて説明したりすることに課題がみられます。 (数学的な見方や考え方)</li> <li>・ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられます。 (数学的な見方や考え方)</li> </ul>

### 【数学全般に見られる傾向と対策】

#### (1) 数量や図形に着目して事象の特徴を的確に捉え、数学的に説明できるようにする。

- 根拠を明らかにしたり、筋道を立てて説明したりする場面を設定するなど、数学的に説明できるような指導方法を工夫します。

また、図形の移動を、ICT機器等を利用して視覚的に理解できるようにするなど、指導方法を工夫します。

#### (2) 事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにする。

- 数字や文字の意味を理解し、式が何を表しているのかを読み取り、読み取った意味に基づいて根拠を明確にして説明するなど、学習活動を工夫します。

**(3) 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにする**

- 授業では、資料を的確に捉える場面や、2つの資料の分布を比較すると特徴を捉えやすくなることなどの具体的な事例から捉える場面を設定します。

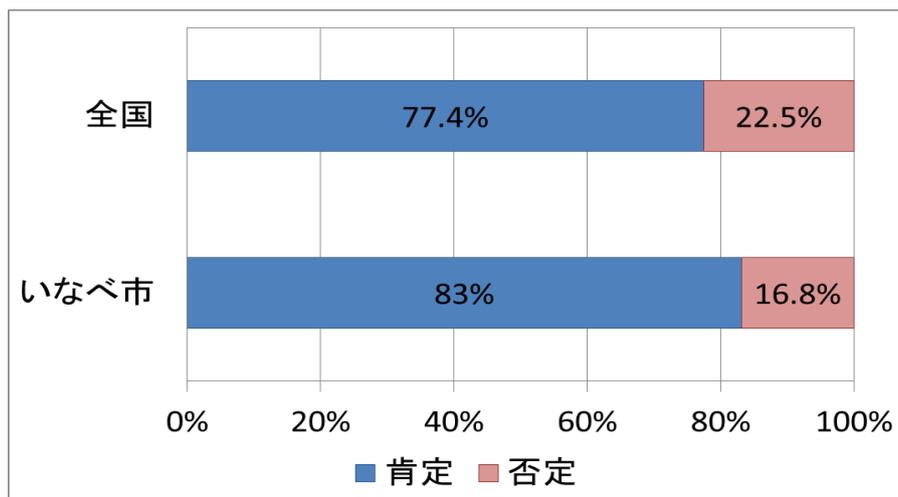
また、事象の根拠を明確にし、数学的な表現を用いて説明できるような指導方法を工夫します。

## Ⅱ 質問紙調査（児童生徒用）におけるいなべ市の 特徴的な傾向と分析

### 1 小学校

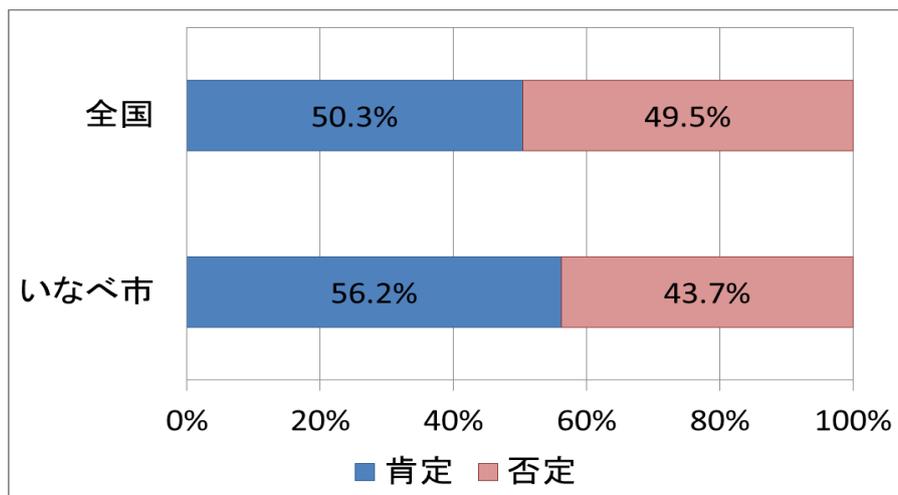
#### 【○強み】

(1) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。



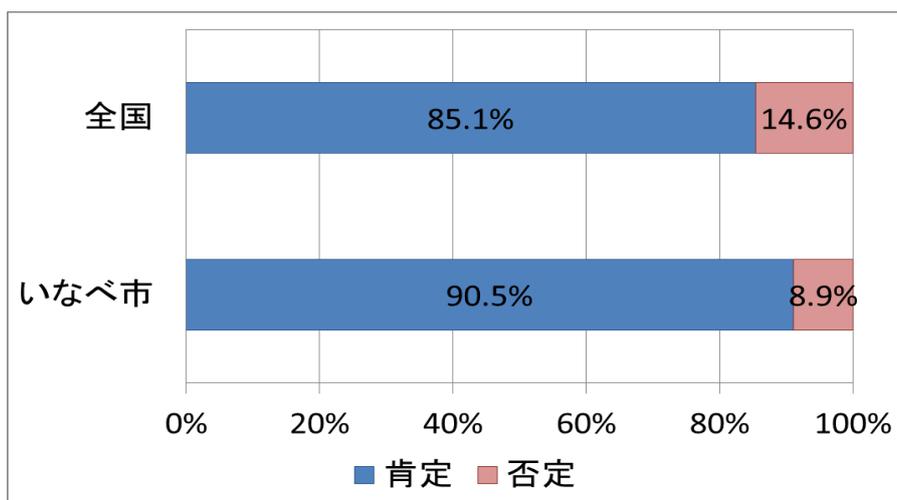
☆ 困難なこともやってみようというチャレンジする気持ちの強いことがわかります。今後も支え合える仲間関係を大事にしていきます。

(2) 学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。



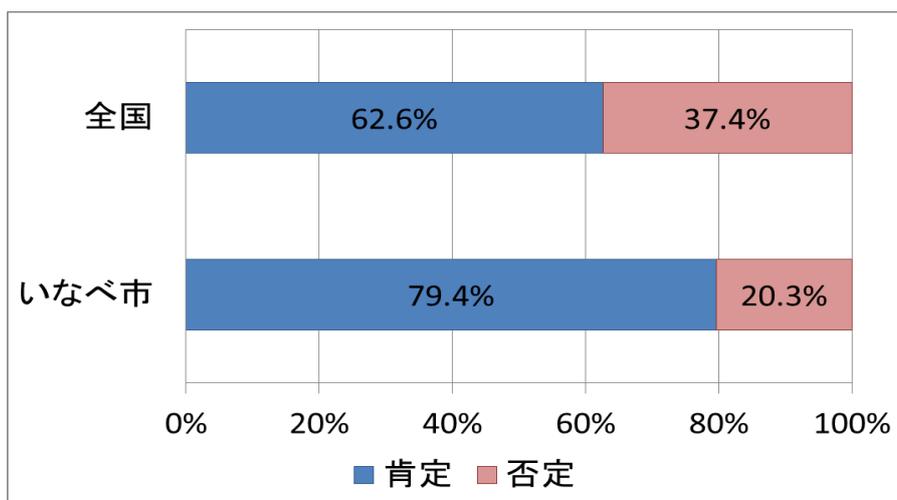
☆ お互いの意見の相違を理解し受け入れ、よりよい仲間づくりが進められています。

(3) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。



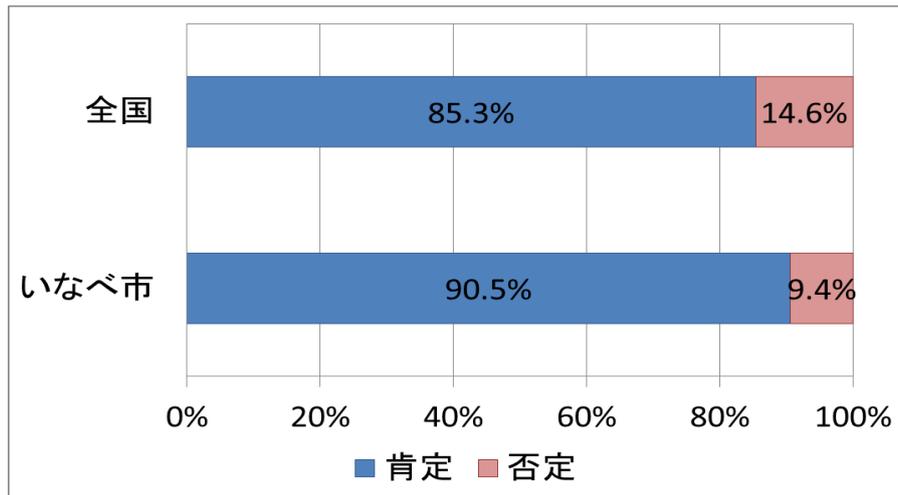
☆ 今後も児童一人ひとりを大切にし、学力保障をめざしていきます。

(4) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



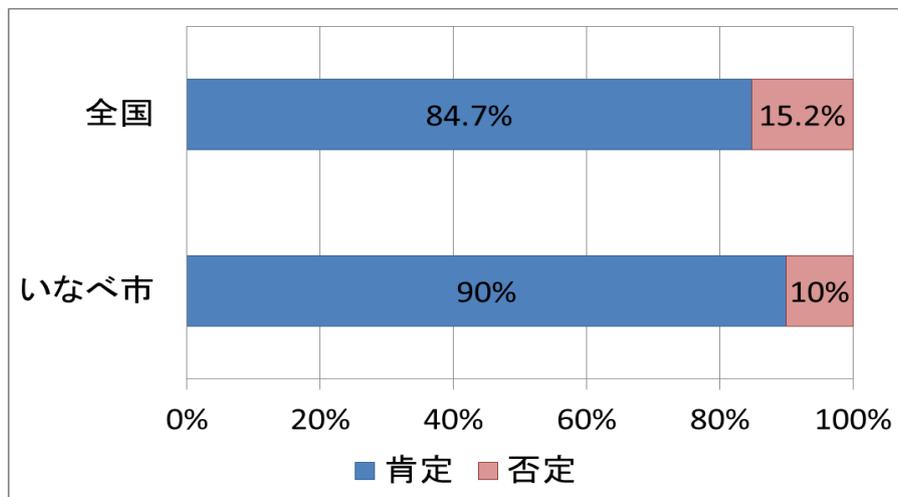
☆ 地域に、子どもたちが参加しやすい行事が実施されており、その行事に地域の一員として参加する意識の高さと所属感の充実がうかがえます。

(5) 人が困っているときは、進んで助けていますか。



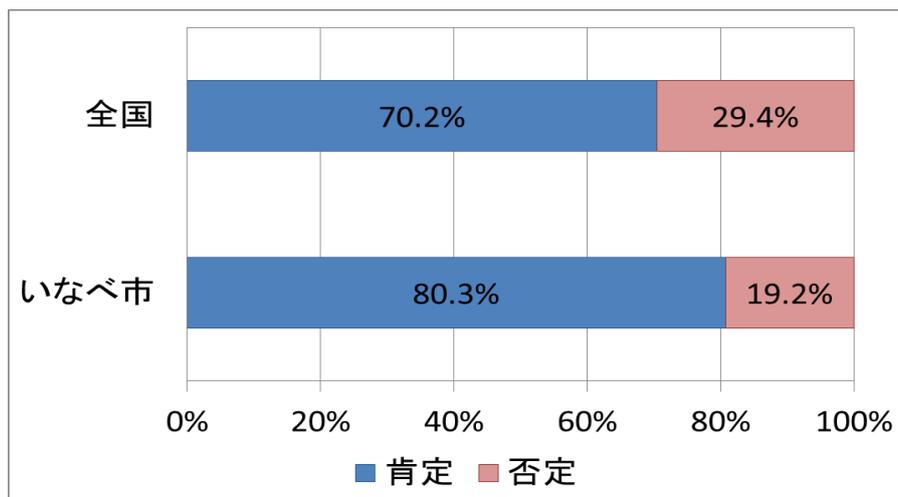
☆ 友だちの困り感に寄り添い、仲間を大切にしようという温かい人間関係が育っています。

(6) 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。



☆ すべての児童の意見や考えが発表できる場面を設定し、学習への積極的な参加を促す授業を進めていきます。

(7) 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。



☆ 「未来いなべ科」(総合的な学習の時間)や各教科で、地域の人や自然から学ぶ学習に取り組んでいきます。

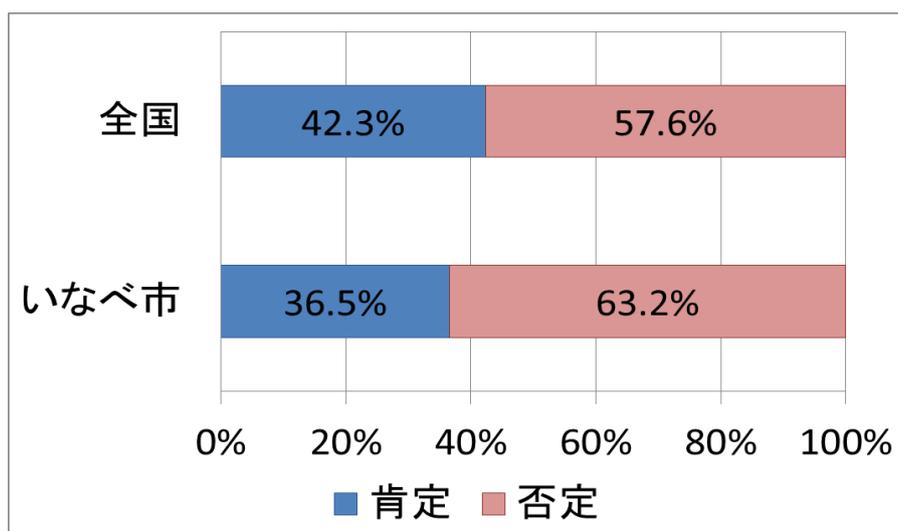
II 質問紙調査(児童生徒用)におけるいなべ市の特徴的な傾向と分析

1 小学校

●弱み

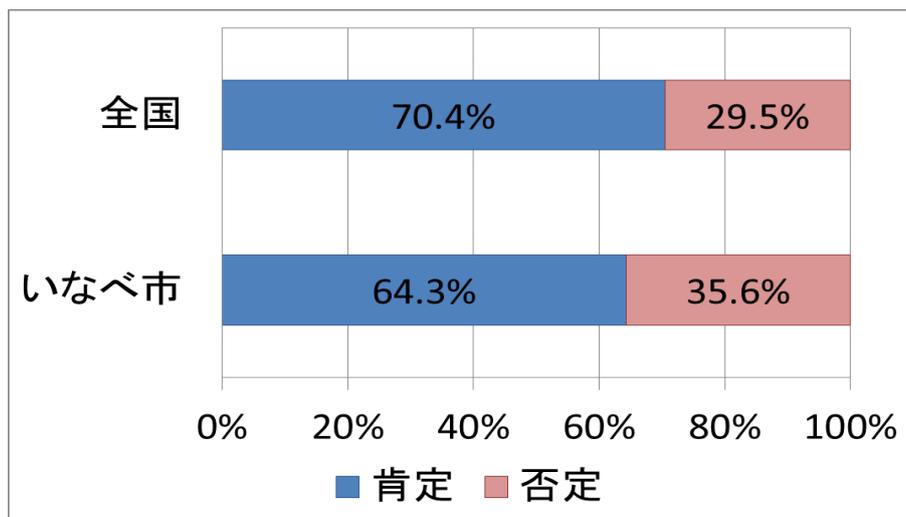
【●弱み】

(1) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



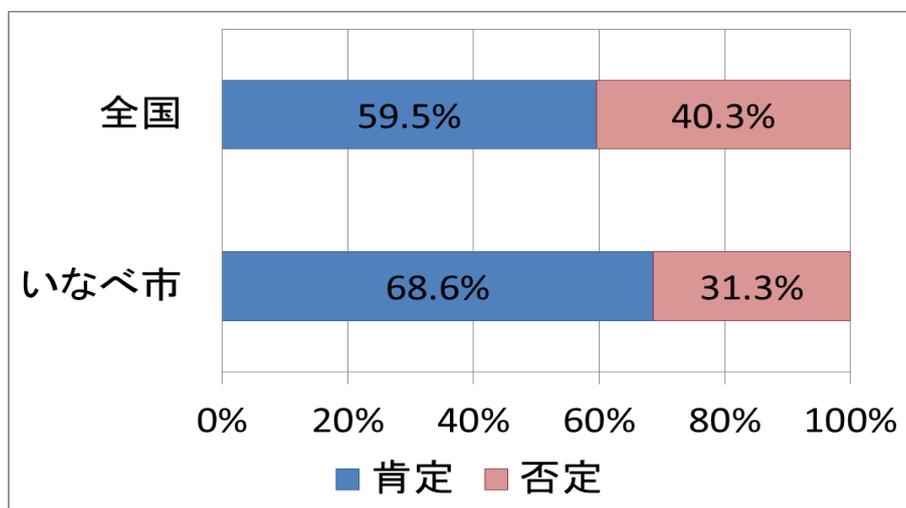
☆ 地域学習では、先人の工夫や苦勞を学んだり、課題を考えたりするなどの学習が取り組まれています。今後、地域の課題を自分のこととして捉え、どう行動するといのかを考えられるような学習内容を工夫していきます。

(2) 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。



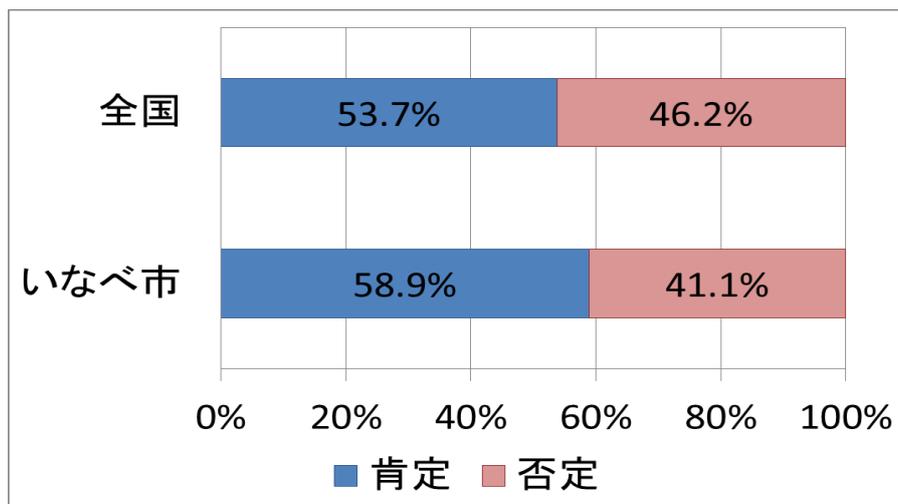
☆ 様々な学習や活動の中で、外国の人たちの生活や考えにふれる機会をもち、視野を広げたり関心を高めたりする取組を工夫していきます。

(3) 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。



☆ 書く学習活動に苦手意識がみられます。書いたものを学級の中で読み合い、よさを認め合ったり推敲したりして、書く楽しさを味わい、書く意欲を向上できるような取組をしていきます。

(4) 学校の授業などで、自分の考えを他の人に話したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。



☆ 自分の考えを話したり、書いたりすることに苦手意識がみられます。教科だけでなく、特別活動などでも自分の考えを表現する取組を大切にしていきたいです。

また、お互いの考えを認め合える温かな学級集団の育成をさらに進めていきます。

## II 質問紙調査（児童生徒用）におけるいなべ市の特徴的な傾向と分析

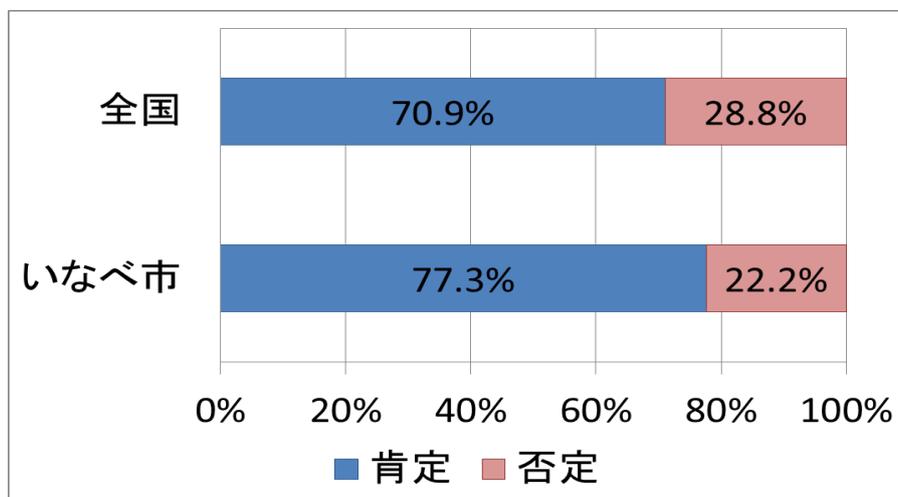
### 2 中学校

○強み

## 2 中学校

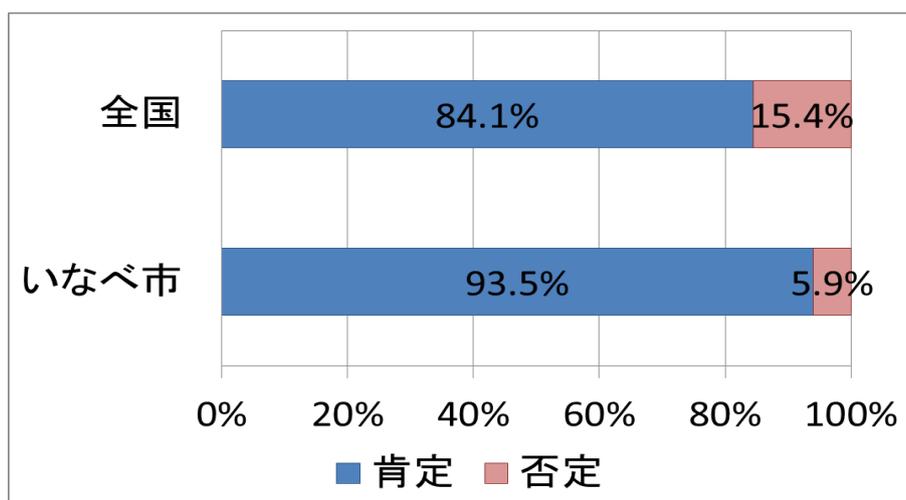
### 【○強み】

(1) 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか。



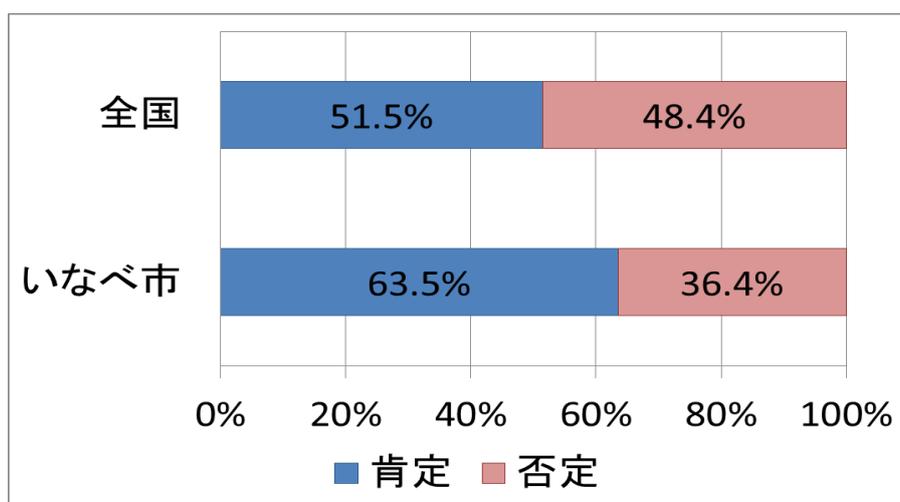
☆ 学んだ内容を他教科や生活に活用しようとする姿勢がうかがえます。授業の工夫の成果であるととらえます。

(2) 家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事にきますか。



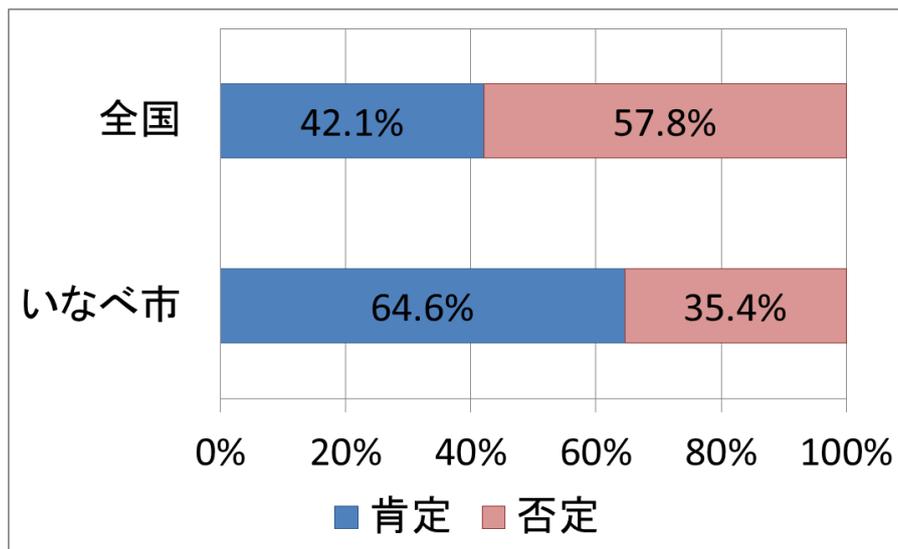
☆ 生徒や学校に対する保護者の関心や協力体制の高さがうかがえます。

(3) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



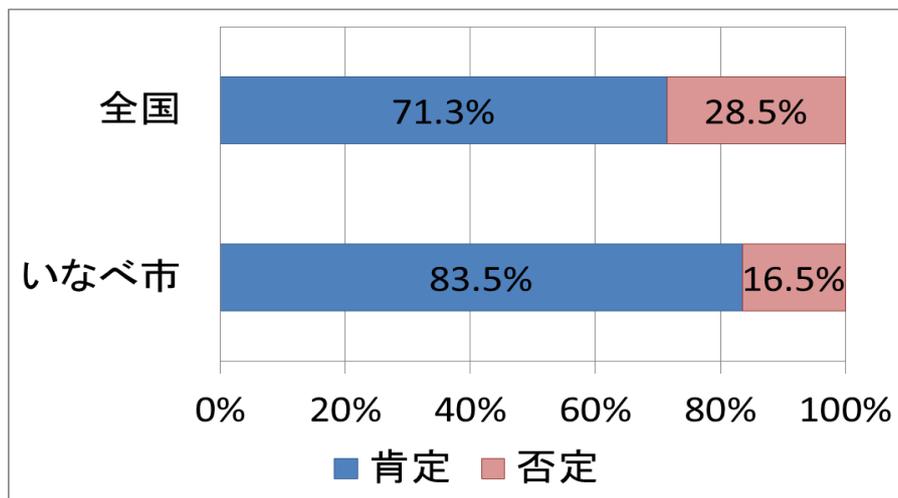
☆ 家庭学習の取組の成果として自主的な学習姿勢が育ってきています。家庭学習の仕方については今後も各校が継続して取り組んでいきます。

(4) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



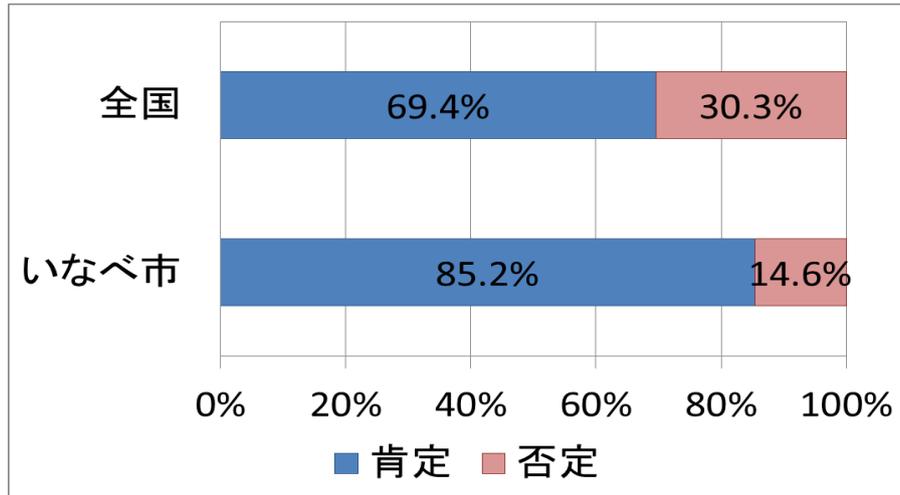
☆ 小学校児童と同じように、地域に生徒が参加しやすい行事が実施されており、その行事に地域の一員として参加する意識の高さと所属感の充実がうかがえます。

(5) 1・2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。



☆ グループで課題を立てて取組や話し合いをし、発表するなどのグループ活動を大事にしています。

(6) 数学の授業の内容はよく分かりますか。



☆ わかる授業をめざしての授業づくりに取り組み、学習内容が生徒に浸透していることがうかがえます。今後も、わかる喜び・できる楽しさと意欲向上をめざした取組を工夫していきます。

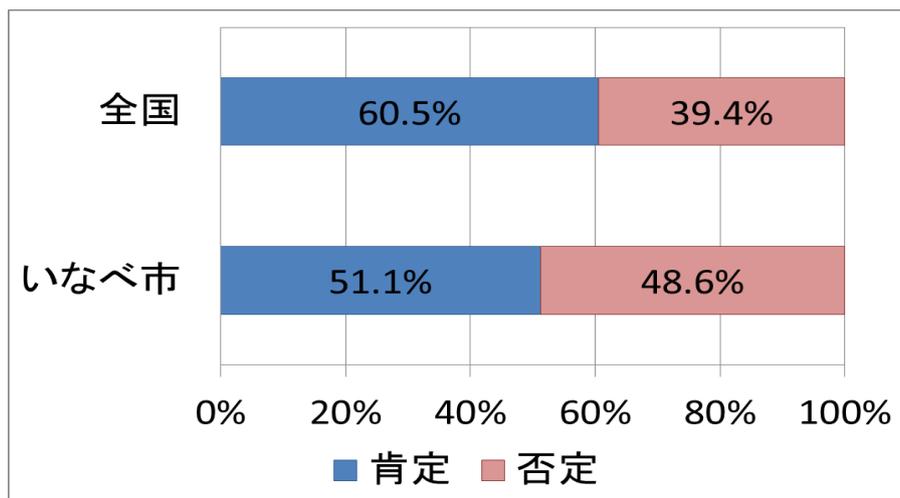
II 質問紙調査（児童生徒用）におけるいなべ市の特徴的な傾向と分析

2 中学校

●弱み

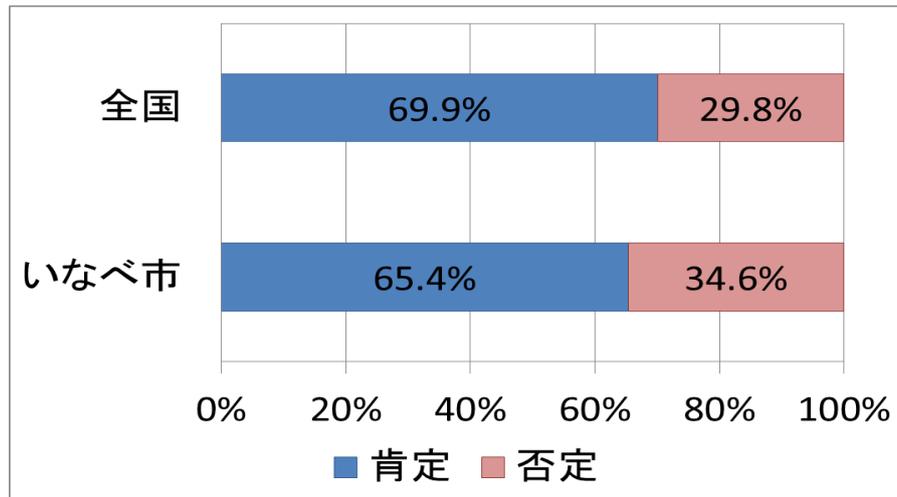
【●弱み】

(1) 国語の勉強は好きですか。



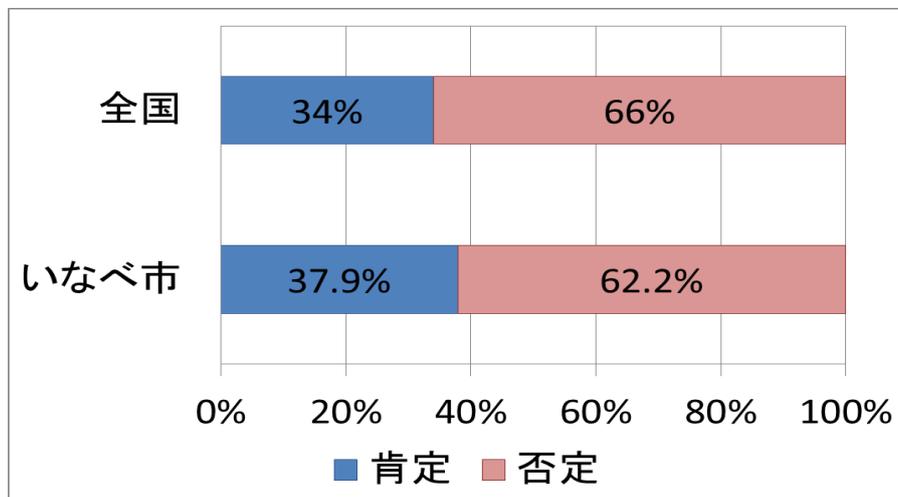
☆ わかる喜び・考える楽しさを味わえるような授業をめざして、授業改善に取り組んでいきます。興味関心をもって国語学習に取り組めるような手だてを考えていきます。

(2) 読書は好きですか。



☆ 読書は、幅広い知識を習得し、読む力をつけるような学習面だけでなく、情緒面にも大きな影響があります。日常的な読書習慣・読書環境の充実を図り、読書の機会を保障していきます。

(3) テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていきますか。

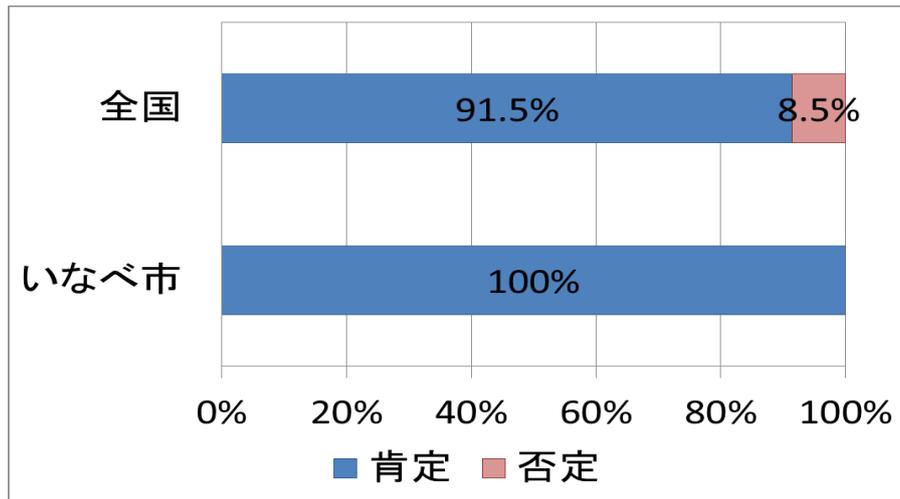


☆ 家の人とテレビの視聴時間やゲームの時間を決めることに関しては全国的にも課題となっています。携帯電話やスマホの使用と合わせて、家族で話し合いが出来るような啓発活動をさらに進めていきます。

### Ⅲ 質問紙調査（学校用）におけるいなべ市の特徴的な傾向と分析 (小学校)

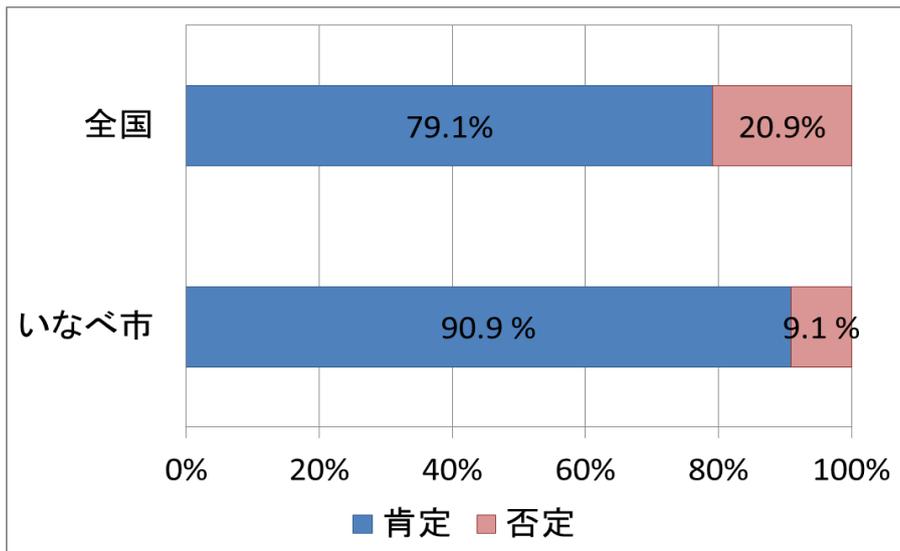
#### 【○強み】

- (1) 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のP D C Aサイクルを確立していますか。



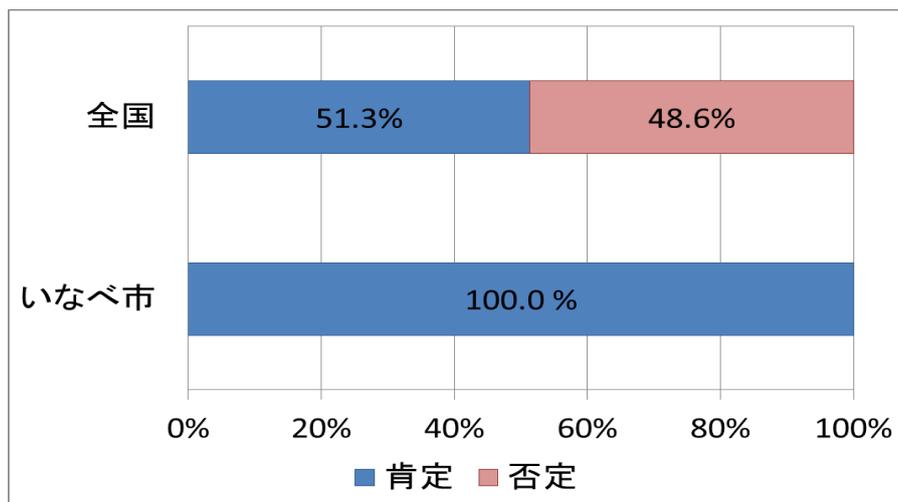
☆ 調査やデータを中学校区ごとに分析し、カリキュラム編成や授業実践などに生かし、さらに分析して改善を進めるという取組が進められていることがわかります。

- (2) 調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。



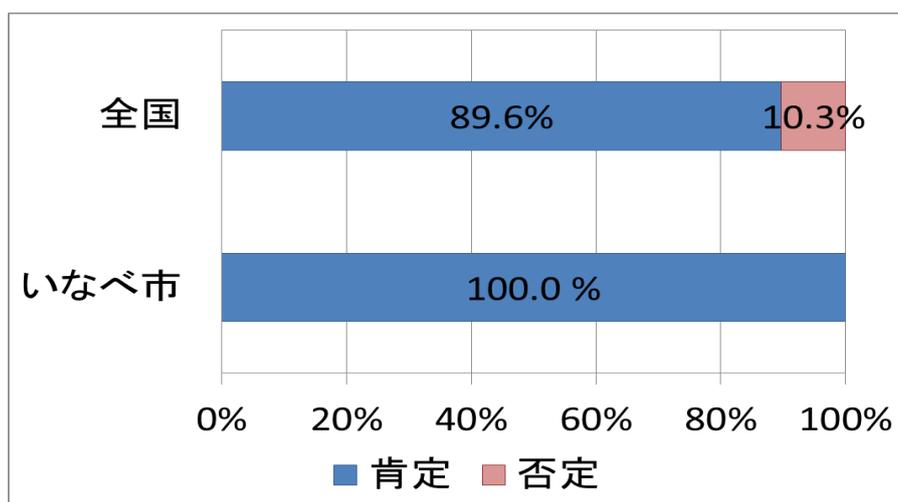
☆ できる喜びや学ぶ楽しさを高めるために、国語における苦手な学習内容の補充的な指導を大事にしていきます。

(3) 前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。



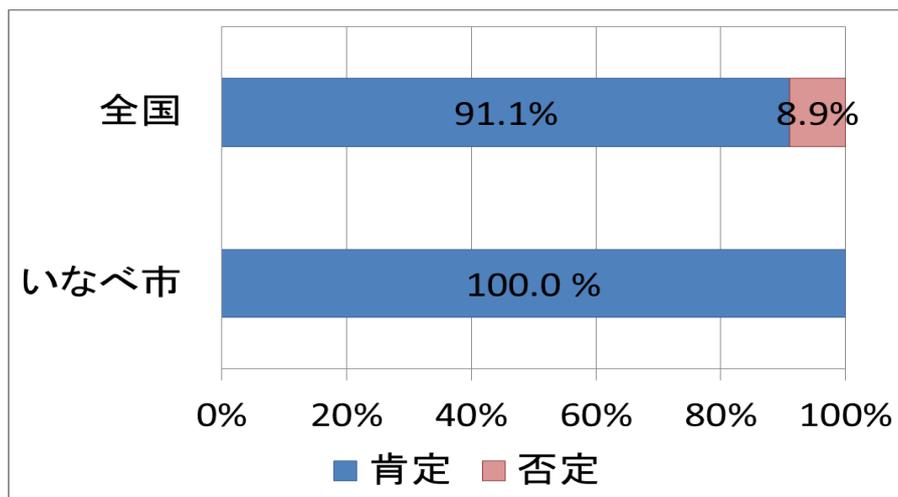
☆ 小中一貫教育推進のために、各中学校区が共通の目標設定を行うなど取組を進めています。関連の質問事項は各項目ともほぼ 100%でした。今後も小中一貫教育の充実に向け、中学校区での取組を継続していきます。

(4) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。(国語／算数共通)



☆ 家庭学習は学習の習熟、学習習慣の定着のために重要視しており、各校で教職員が共通理解を図り課題を与えています。また、家庭学習の仕方については、内容や時間について中学校区でも家庭との連携を図りながら取り組んでいます。

(5) 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか。



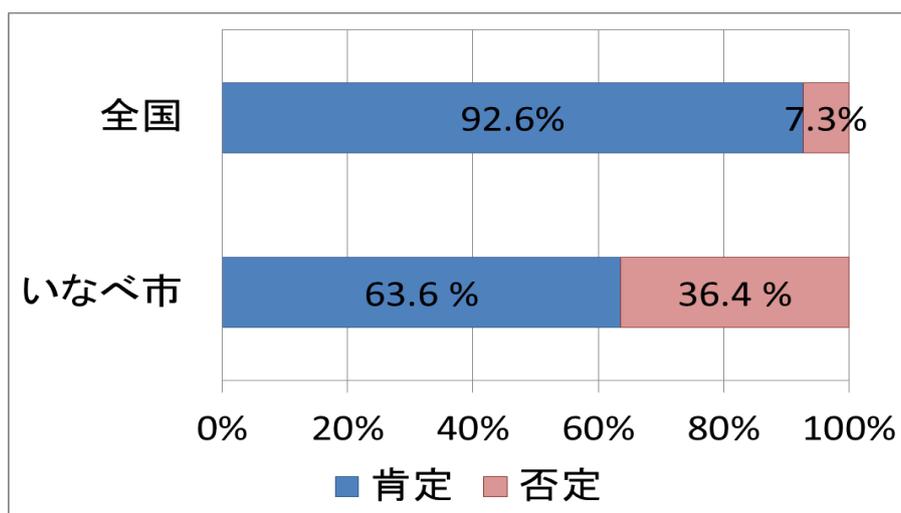
☆ 言語活動については、研修などでも取り上げ、全教職員が共通理解を図りながら、日常実践に取り組んでいます。

質問紙調査（学校用）におけるいなべ市の特徴的な傾向と分析

●弱み

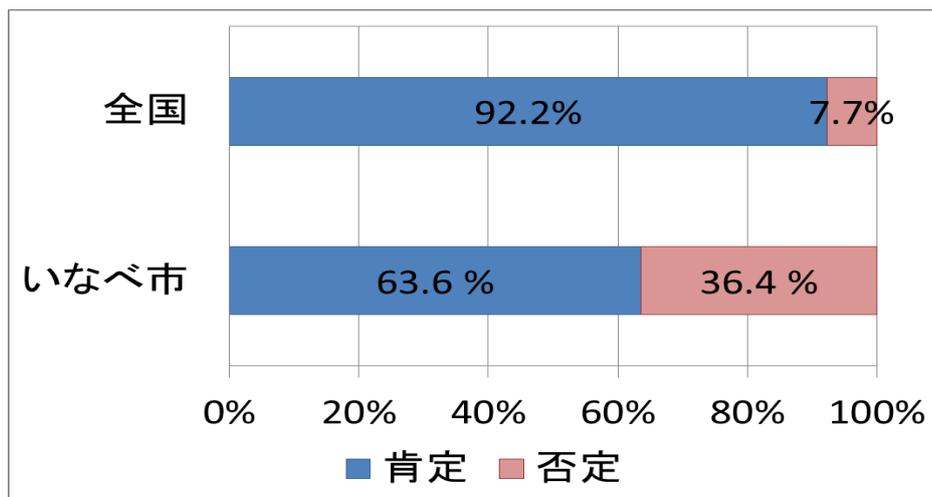
### 【●弱み】

(1) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くように指導しましたか。



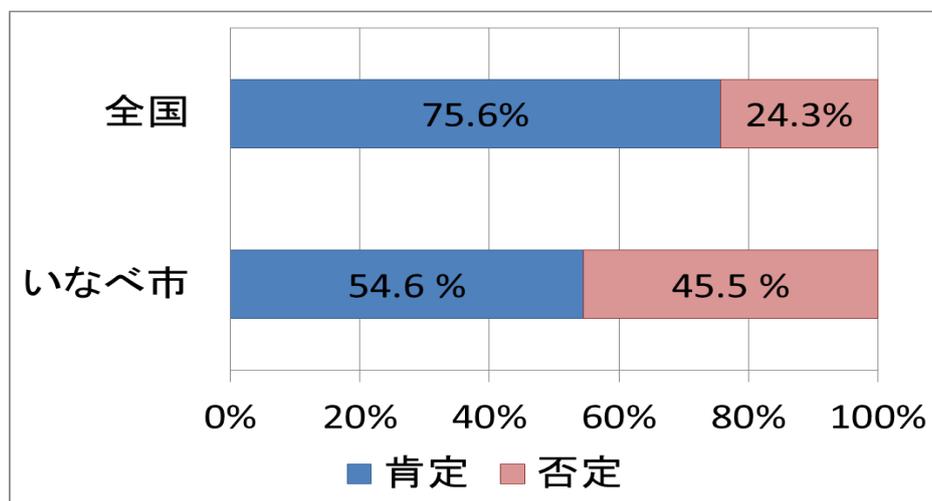
☆ 本やインターネットなどを使って資料を調べることで、学習内容の理解を助けたり深めたりすることができます。今後、さらに本やインターネットなどを調べ学習等で活用できるように授業内容を工夫していきます。

(2) 調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて、話したり聞いたりする授業を行いましたか。



☆ 「聞く・話す」は国語だけでなく、あらゆる教育活動の基本です。基本的な学習姿勢を確立させ、さらに目的や相手を意識した「聞く・話す」の指導の充実を図っていきます。

(3) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか。



☆ 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする中で、多くの学びがありました。今後は、自分たちがこれからの地域や社会にどう関わっていきけるかということも視野に入れた指導を工夫していきます。

## Ⅳ いなべ市の取組について

### 1 NRTの実施

毎年4月、小2年生～中3年生を対象に、NRT（標準学力検査）を実施しています。前学年の学習内容における学力の定着状況を明らかにし、児童生徒の「強み」「弱み」に基づいた効果的な学習指導の在り方を検証していきます。

### 2 指導主事等による学校訪問

教職員の指導力向上を図るため、指導主事や学力向上特別指導員を派遣し、授業改善のための指導・助言を行います。

## V 各学校における学力向上の取組について

### 1 学級集団づくり

学力向上の土台となるのは、児童生徒の学習環境の充実と学習意欲の向上です。

各学校では、授業改善とともに、学級集団づくりに取り組んでいます。年間2回実施しているQU（学級満足度調査）を活用し、ルールやマナーづくりを通して、一人ひとりの規範意識を高めるとともに、友だちに寄り添い、互いに高まり合えるいじめのない学級集団でこそ、自尊感情が高められ、学習への意欲が生まれると考えています。

### 2 授業改善

学校では、授業改善を主とした「授業づくり研修」を行っています。指導の在り方を検討したり、新しい授業方法に挑戦したりしています。研修を通じて学んだことは、それぞれの教職員の指導に活かしていきます。

### 3 NRT・全国学力・学習状況調査の分析

NRTや、全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果分析により、児童生徒の学力状況をできるだけ細かく分析し日々の授業改善に活かします。また、県教育委員会作成のワークシート等を活用し、学力の定着を図ります。

今年度は、それらの分析結果をもとに各学校における取組を10月6日付で保護者の皆様にお知らせいたしました。

### 4 生活習慣づくり

児童生徒の健やかな成長のためには、保護者、地域のみなさまのご支援が必要です。特に、メディアとの接触や、携帯・スマートフォンの使用における家庭でのルールづくり、規則正しい生活づくりにおいては、学校と連携した取組が必要です。

各校では、児童生徒の生活習慣づくりに向けて、さまざまな取組を実施しています。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。